**4**₁13⋴ 日野市長選

さんと

一緒に市政を変えよう

4年間で実行します **૾**す・子育て応援・

1. 学用品費、修学旅行等の 4.7 億円 保護者負担ゼロ

2. 保育園の給食無償化 <sub>武蔵野市に続き4月から立川市でも</sub> 3.5 億円

3. 夏休みなど希望する 子どもに給食提供

子どものために、もっと予算を!

日野市の教育費は 多摩26市で24位

(2023年度の市民一人当たりの決算額)

26市平均は 54,105円 日野市は 37,854 円

# 緊急物価対策も実行します 地域経済・暮らしを元気に

- 1.350の介護事業所に物価高騰対策緊急支援、 小規模事業者の下水道料金10%引き下げ
- 2. 介護や保育で働く人の待遇改善
- 3. 学校・道路等の改修工事を小規模事業者に発注 学校の雨漏り、ボロボロになった道路などの改修に優先的に予算をつけます。
- 4. 地場野菜の学校給食への活用拡大、有機農業を奨励する
- 5. 公契約条例の報酬下限額を引き上げる 市が発注する仕事を担う労働者の報酬を引きあげます。

#### 地域循環型に 転換を

「コストカット」型の政治が長く 続き、地場産業も、介護、子 育て等の福祉を支える事業も、 現場の疲弊は深刻です。地域 の中にお金を循環させれば、市 民の所得も増えて、市の税収も 増やすことができます。





日野市の立て直し、3つの改革を

# 汚れた政治にNO!

不正・腐敗の全容を解明、情報公開、当事者の声を生かす対話のまちに

馬場市政の下で副市長をつとめた人物が、長年市民の見えないところで市政を支配し、 補助金をだまし取るなど不正の限りを尽くし、4年前、逮捕・有罪判決を受けました。

あるが精一さんは、この疑惑解明の先頭に立ち、市民とともに裁判を起こし、4億円 もの市民の税金を取りもどしました。



「財政非常事態宣言」は「お金がない」と市民にガマンを 押しつける口実にされてきました。市の一般会計・特別会計 は合わせて1400億円。ムダをなくし、予算の全体を見直し、 暮らしを守る財源をつくります。

- ●1校1名の学校図書館司書、 スクールソーシャルワーカーを配置します。
- ●フリースクール、子ども食堂などへの財政支援をすすめます。
- ●さわやか健康体操の3年卒業制度を廃止、高齢者食事 サービスの値上げ中止、補聴器の補助額を引き上げます。
- ●地域包括支援センター、介護事業所への支援を行います。
- ●障害者の法定雇用率を遵守し、雇用を広げます。障害者 の通勤や職場におけるガイドヘルパーを制度化します。
- ●市直営の基幹相談支援センターをつくり障害者への支援を 強化します。
- ●市立病院は地域の医療機関や介護施設と連携し、市民の 命と健康を守る拠点として維持・充実をはかります。

### Check!

#### 根拠のない 「財政非常事態宣言」

日野市は毎年黒字 決算で、2023 年度は 42 億円の黒字、実質 収支比率では26市中 第1位の黒字となりま した。

財政力も 26 市の中 位のランク。日野市を 除いて「財政非常事 態 | を宣言していると ころは他にありません。

#### データセンターなど超大型開発計画が次々に-

## 日野市のルールと住民合意で住環境を守る

データセンター建設計画への指導を求める請願が不採択に。「電気の使用量や二酸化炭素排出量などの情報公開」「日 野市の気候温暖化対策に整合する計画に丨「住民との合意形成の努力|など市長の開発業者への指導要請を求めた市 議会請願が多数で不採択にされました。「なんでこんな当然の住民の願いに背を向けるのか」と市民の怒りの声が上がっ ています。

- ●CO2 排出ゼロ、緑と清流、環境優先のまちづくりをすすめます。
- ●生産緑地の買取り、新規就農者支援を強化し農地と農業を守ります。
- ●公園、緑地、街路樹の更新計画をつくり、保全・管理を強化します。
- ●生ごみ、プラスチック等のごみ減量をすすめ、クリーンセンターの石田地区からの撤退に向けた3市協議を急ぎます。
- ▶地震、水害などの避難計画を住民参加でつくります。人権、プライバシーが守れる避難所の整備をすすめます。
  - ●ミニバス等公共交通の充実をはかり市民の移動の権利を守ります。

いま日野には、相手がだれであるうとも、ものが言える勇気ある市長が必要です!

